

## ふるさと松浦のまちづくりをともに考える決議

一般質問終了後、議案が上程され、田郷議員が説明を行いました。採択の結果、全会一致で原案どおり可決されました。



▲田郷美羽 議員

御厨中学校  
・田郷 美羽 議員

この度、私たちは、「松浦市子ども議会」に参加し、改めて自分たちが住んでいる地域や松浦市全体のことを考える機会を得ました。

質問は、各校それぞれが学級や学校での話し合いを深め決めた内容で、公園や校舎、医療サービスなどの社会資本の整備から雇用確保や観光開発、人口減少対策などの地域おこしなど、広い範囲に及びました。どれも私たちの生活に密着していることばかりで、改めて松浦市の課題とともに魅力について振り返



ることができました。

松浦市は、自然が豊かで歴史や伝統のある、素晴らしい私たちのふるさとです。

私たちは、今回の貴重な体験を生かし、まちづくりを人ごととせず、将来のまちづくりの担い手として、これからのまちづくりについて仲間とともに考え、皆さまとともに、ふるさと松浦を創るために取り組んでいきたいと思えます。

以上、決議します。

## 子ども議会を通して感じたこと

子ども議会終了後、議長、市長、教育長からいただいた感想を掲載します。



▲山口康成 議長

御厨中学校  
・山口 康成 議長

子ども議会は、私たち中学生が松浦市の現状を知り、松浦市の未来を考える良い機会になったと思います。

今回、議長という仕事を体験して議会を進行する難しさを学び、やり遂げた後は、大きな達成感を得ることができました。

各学校からの意見や要望を聞いて、松浦市の課題について深く考え、答弁を聞いて、松浦市が取り組んでいくことについて知ることができました。今回だけに限らず、日頃から私たちのふるさと松浦のことを考えていきたいと思えます。



友田 吉泰 市長



子ども議員は、松浦市を住み続けたいまちにするためには何が必要なのかという視点で質問や提案をしてくれました。その内容は人口減少問題、地域の賑わいづくり、ふるさと納税、特産物のPR、医師確保など、本市の課題を的確に捉えたものばかりで、大変参考になる提案もありました。

また、今回は子ども議員の皆さんに、より深く市政について考えて欲しいとの考えから、市側の答弁を事前に伝え、通告なしの再質問をお願いしていたため、私たちも緊張感をもって議会に臨みました。この機会を通して、松浦の未来を創る子どもたちが、ふるさとの課題を真剣に考え質問してくれたことや、決議の中で「まちづくりを人ごととせず、将来の担い手として取り組んでいきたい」という姿勢を示してくれたことをとても頼もしく、そして嬉しく感じています。皆さんの想いをしっかりと受け止め、住み続けたいと実感できるまちづくりに努めます。

今西 誠司 教育長



子ども議員は、「住みたい住み続けたいまち 松浦」にするために、どうしたらいいかを一生懸命に考え、堂々と質問してくれました。内容も、身近な地域や松浦市全体の中から課題を見つけ、今以上に魅力のあるまちにするための方策を提案してくれました。

また、決議文には、「ふるさと松浦」のまちづくりのための自覚と決意が込められており、胸が熱くなりました。

子ども議員の思いや意見、提案をしっかりと受け止め、今後の政策に活かしていきたいと思えます。

生徒たちは、子ども議会をとおして、松浦市のよさや課題、市議会のことについて知ることができたと思います。

今回の貴重な経験を今後に活かすとともに、日々の教育活動の中で生きる力を高め、将来、松浦市はもとより、更に広い世界でも活躍してくれることを期待しています。

